学科到達目標

科目区分	授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																				担当教員	履修上の区分
					1年				2年				3年				4年				5年					
					前		後		前		後		前		後		前		後		前		後			
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	必修	国語	履修単位	3	3																			猪平直人, 高加子, 陽		
一般	必修	歴史	履修単位	2	2																			田中聡, 鈴木寛		
一般	必修	現代社会	履修単位	2	2																			佐藤公俊		
一般	必修	基礎数学 A	履修単位	3	6																			涌田和野, 芳澤武司, 岩瀬誠一, 長谷川健一		
一般	必修	基礎数学 B	履修単位	3		6																		涌田和野, 芳澤武司, 岩瀬誠一, 長谷川健一		
一般	必修	課題数学	履修単位	1	1																			涌田和野, 芳澤武司, 岩瀬誠一, 長谷川健一		
一般	必修	化学	履修単位	3	3																			小川秀山, 山口惇		
一般	必修	生物	履修単位	2	2																			小川秀誠, 鈴木誠治		
一般	必修	保健体育	履修単位	2	2																			阿部高弘		
一般	必修	英語 I	履修単位	2	2																			占部昌蔵, 土田泰子		
一般	必修	英語 II	履修単位	2	2																			土田泰子, 大湊佳宏		
一般	必修	オーラル・コミュニケーション	履修単位	1	1																			ポールエドワーズ		
一般	必修	音楽	履修単位	2	2																			長谷川紀子		
一般	必修	美術	履修単位	2	2																			本多康夫		
一般	選択	国際関係学演習	履修単位	1	1																			市村勝己		
一般	必修	国語	履修単位	3				3	3															猪平直人, 黒田知子		
一般	必修	歴史	履修単位	2				2	2															田中聡		
一般	必修	現代社会	履修単位	2				2	2															鈴木寛		
一般	必修	基礎数学 C	履修単位	2				4																涌田和野, 芳佐藤, 直原喜宏		

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	保健体育		
科目基礎情報							
科目番号	0028	科目区分	一般 / 必履修				
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	一般教育科	対象学年	5				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	現代保健体育改訂版, 大修館書店						
担当教員	阿部 高弘, 江田 茂行, 桐生 拓						
到達目標							
既習した運動理論や運動技術を基本に生涯健康であるために、総合的に運動と関わるか、運動習慣を身に付けるためにはどうするかを自ら考え、自ら学び、練り上げ、生活にいかせる能力を身に付ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲーム概ねができる。	左記に達していない				
評価項目2	互いに協力してトレーニングや競技ができるようにするとともに、グラウンド、体育館などの安全を確かめ、健康・安全に留意してトレーニングや競技ができる。	②態度：互いに協力してトレーニングや競技ができるようにするとともに、グラウンド、体育館などの安全を確かめ、健康・安全に留意してトレーニングや競技が概ねできる。	左記に達していない				
評価項目3	自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的なトレーニングの仕方や競技の仕方を工夫することができる。	自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的なトレーニングの仕方や競技の仕方を工夫することができる。	左記に達していない				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	運動理論や運動技術を基本に生涯健康であるために、総合的に運動と関わるか、運動習慣を身に付けるためにはどうするかを自ら考え、自ら学び、練り上げ、生活にいかせる能力を身に付ける。						
授業の進め方・方法	教室の他、体育館・グラウンド他体育施設にて講義・実技を行う。						
注意点	健康・安全に留意して授業参加できるようにすることが大切であり、原則的に学校指定の体操着を着用、装飾品等を外して授業に参加すること。天候や気温、湿度などの気象条件に応じた服装の用意を忘れないこと。地面や床の固さやスポーツ種目を考え、適切なシューズを履くこと。以上のことが健康・安全にかかわる態度の育成に寄与する。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 体力を高めるための運動①	体育授業の流れを理解する			
		2週	体力を高めるための運動②	体づくり運動の内容を理解・実践する			
		3週	体力を高めるための運動③	体づくり運動の内容を理解・実践する			
		4週	スポーツテスト（屋内種目）	スポーツテストの屋内種目を行う			
		5週	スポーツテスト（屋外種目）	スポーツテストの屋外種目を行う			
		6週	スポーツテストの結果の読み方と分析の仕方	スポーツテストの結果の読み方を理解する。			
		7週	野球型球技・ゴール型球技・ネット型球技の中から、関心のある種目を選択し、各自の体力・技能にあった練習計画を立て実践する。	各自でそれぞれの関心にあった種目を選択し、計画を立て実践する。			
		8週	種目ごとのグループに分かれ実践	各自で選択した種目の計画を立て、実践する。			
	2ndQ	9週	〃	各自で選択した種目の計画を立て、実践する。			
		10週	〃	各自で選択した種目の計画を立て、実践する。			
		11週	〃	各自で選択した種目の計画を立て、実践する。			
		12週	〃	各自で選択した種目の計画を立て、実践する。			
		13週	〃	各自で選択した種目の計画を立て、実践する。			
		14週	〃	各自で選択した種目の計画を立て、実践する。			
		15週	まとめ	これまでの実践をまとめて振り返る。			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	50	50
専門的能力	0	0	0	0	0	25	25
分野横断的能力	0	0	0	0	0	25	25

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	経済学 A	
科目基礎情報							
科目番号	0047		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	一般教育科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	青才高志編著『現代経済の解説』御茶の水書房 (2013)						
担当教員	佐藤 公俊						
到達目標							
<p>この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。</p> <p>この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。</p> <p>①現代の社会経済と福祉社会についての概念、論理、理論を理解する。</p> <p>②日本資本主義とグローバル資本主義の政治経済システムの形成過程と現状、今後の方向性・あり方を理解する。</p> <p>③外部と関係する経済学の現代的社会的な意味を把握する。フェミニズムやジェンダー、福祉国家論などの意味を把握する。</p>							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1		現代の社会経済と福祉社会についての概念、論理、理論を理解する。	現代の社会経済と福祉社会についての概念、論理、理論を概ね理解する。	左記に到達していない。			
評価項目2		日本資本主義とグローバル資本主義の政治経済システムの形成過程と現状、今後の方向性・あり方を理解する。	日本資本主義とグローバル資本主義の政治経済システムの形成過程と現状、今後の方向性・あり方を概ね理解する。	左記に到達していない。			
評価項目3		外部と関係する経済学の現代的社会的な意味を把握する。フェミニズムやジェンダー、福祉国家論などの意味を把握する。	外部と関係する経済学の現代的社会的な意味を概ね把握する。フェミニズムやジェンダー、福祉国家論などの意味を概ね把握する。	左記に到達していない。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本と世界の戦後の経済発展の蓄積様式と経済問題、社会経済体制としての資本主義経済や市場経済と外部との関係を考察する。社会的必要労働を中心とした社会経済構造論の確立につとめる。さらに、市民の自律・協働・連帯による新たな福祉国家体制と将来のあるべき社会体制を展望する。○関連する科目：法学、社会学、歴史学 I (以上前年度履修)、経済学 B (後期履修)。						
授業の進め方・方法	この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。 次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。 ●定期試験【60%】 ●レポート等【40%】						
注意点	新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス：福祉国家とグローバル化、福祉国家の再編	授業展開、福祉国家とグローバル化、福祉国家の再編の概要を理解する。			
		2週	福祉国家論の開拓者：ウェブ夫妻について (1)	ウェブ夫妻の福祉国家論を理解する。			
		3週	福祉国家論の開拓者：ウェブ夫妻について (2)	ウェブ夫妻の福祉国家論を理解する。			
		4週	福祉国家論の開拓者：ウェブ夫妻について (3)	ウェブ夫妻の福祉国家論を理解する。			
		5週	日本経済のあゆみ (1) : 高度成長期	日本経済の高度成長期を理解する。			
		6週	日本経済のあゆみ (2) : 安定成長期	日本経済の安定成長期を理解する。			
		7週	日本経済のあゆみ (3) : ゼロ成長期	日本経済のゼロ成長期を理解する。			
		8週	日本経済のあゆみ (4) : マイナス成長期	日本経済のマイナス成長期を理解する。			
	2ndQ	9週	世界経済のあゆみ (1)	世界経済のあゆみを理解する。			
		10週	世界経済のあゆみ (2)	世界経済のあゆみを理解する。			
		11週	世界経済のあゆみ (3)	世界経済のあゆみを理解する。			
		12週	世界経済のあゆみ (4)	世界経済のあゆみを理解する。			
		13週	金融システムの変容と金融の再編	金融システムの変容と金融の再編を理解する。			
		14週	産業・経営システム、労働と格差	産業・経営システム、労働と格差を理解する。			
		15週	前期末試験	問題の理解と解決。			
		16週	試験解説と発展授業	試験の確認と経済学の展開について理解する。			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民	資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。	2		
				現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	2		
			地歴・公民	今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	2		
				環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。	2		
評価割合							
	期末試験	ノート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	50	40	0	10	0	0	100
基礎的能力	20	30	0	10	0	0	60
専門的能力	15	10	0	0	0	0	25
分野横断的能力	15	0	0	0	0	0	15
	0	0	0	0	0	0	0